

びわこ学園だより

Biwako Gakuen Newsletter

vol.
149

2025年(令和7年)
7月発行

もくじ

表紙	1P
理事長交代のご挨拶	2P
令和7年度着任式の様子	3P
～各所の日常 2025年 春～	4～5P
令和7年度創立記念式講演報告	6P
令和7年度事業計画	7～10P
令和7年度予算	11P
協力ありがとう (R6年12月～R7年3月)	12P

2025年度も、この子らとともに

光り輝く時代に向けて



理事長交代のご挨拶

令和7年6月27日付で当法人の理事長が山崎正策から口分田政夫に交代しましたことをご報告いたします。

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
日頃は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて 私儀

このたび 社会福祉法人びわこ学園理事長を退任いたしました。
在任中は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。
なお 後任の理事長には口分田政夫が就任いたしましたのでなにとぞ 私同様
相変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。
まずは略儀ながら、御礼かたがたご挨拶申し上げます。

謹白

社会福祉法人びわこ学園
前理事長 山崎 正策

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
日頃は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて 私儀

このたび 社会福祉法人びわこ学園理事長に就任いたしました。
はなはだ微力ではありますが、新任務に全力を尽くす所存でございますので
何卒前任者同様のご指導ご鞭撻を賜りますよう切にお願い申し上げます。
まずは略儀ながら、謹んでご挨拶申し上げます。

謹白

社会福祉法人びわこ学園
理事長 口分田 政夫

理事長交代後も、「この子らを世の光に」の理念を継承し、「この子らとともに光り輝く時代へ向けて」一丸となり、「いのち」そしてお互いの人権や尊厳を大切に、支え合い、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会を目指してまいります。

引き続き当法人の事業運営に対するご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。

令和7年7月吉日 社会福祉法人びわこ学園

令和7年度 社会福祉法人 びわこ学園 着任式



宣 誓

新任職員を代表して、誓いの言葉を述べさせていただきます。

本日はお忙しい中、私たち新任職員のために、着任式を開催してくださり、心より感謝申し上げます。先程、理事長からの激励の言葉を頂戴し、私たちの責務を改めて自覚し、身の引き締まる思いです。

新任職員の仲間と共に、びわこ学園の職員の一員として迎えて頂いたことを、心より感謝申し上げます。

私たちは、びわこ学園の理念に基づき、「一人ひとりの尊厳を尊重し、命を支え、障害のある方々が「ふつうの生活」を送れるようサポートすることを使命と考えています。日々の利用者さんとの関わりの中で利用者さんの思いをくみとり、利用者さんにとって過こしやすく安心できる環境を作ることができるよう、何事にも謙虚に、向上心を持って、全力で取り組んでいきたいと思えます。

また、先輩方が築き上げてこられたびわこ学園の伝統をさらに発展できるよう尽力して参ります。

私たちは、まだ社会人としても未熟で、わからないことばかりです。どうか寛大なお心でご指導、ご助言のほど、よろしくお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、新任職員一同を代表いたしまして誓いの言葉とさせていただきます。

令和七年四月一日

新任職員代表 橋本 実咲紀

障害の重い人たちの生活、そしてこれからのびわこ学園を共に支える仲間として、本年度は15名の正規職員を迎えることができました。理事長から一人ひとりに辞令が手渡され、また、新任職員代表からは、上記の宣誓がありました。現在は、それぞれの部署で日々頑張っているところです。

(法人事務局人財育成部)

各所の日常～2025年春～

今年の桜も綺麗！



第2病棟

びわこ学園医療福祉センター野洲



第1病棟

お出かけ楽しかったなあ



第3病棟

ともる (6.6マルシェへの出店)



通所事業所で製作された
「紙すき」商品などを販売しました。

びわこ学園障害者支援センター

えまい (5.17春を迎える会)



利用者さんご家族、職員 (OB・OG含む)、
ボランティアさんたち



みんな楽しいひと時を過ごしました



これからも定期的に出店していく予定なので、
見かけたときはお声かけください。

びわこ学園医療福祉センター草津

第1病棟
キラキラ、
きれいだな～



第2病棟
いつものボランティアさん
と一緒に行事参加



第3病棟
春はお散歩気持ちいいなあ

知的障害児者地域生活支援センター

さくらはうす

ひまわりはうす

ベランダ菜園
はじめました



ドライブ活動で
大津市由美浜にオープンした
「LAGO」に行きました



公園の桜が満開になりました。
今年も春がやって来たましたぬ。



自分から作りたないと何日もかけて、
豚の縫いぐるみを縫われました。



令和7年度創立記念講演報告 相談支援の大先輩、中島秀夫氏のご講演を聞いて

法人事務局事業企画部

『情熱をもった人間が歴史をつくる』新幹線の父と呼ばれた十河信二が糸賀一雄に書き贈った言葉です。今回のご講演を伺い一見すると優しくその穏やかな口調からは想像できない中島さんが持つ「滋賀の福祉人」としての本質をこの言葉の中に改めて感じました。

令和7年度創立記念公演は、長年にわたり相談支援のフィールドを歩み続け、その礎を築いた中島秀夫氏（当法人評議員・前滋賀県自立支援協議会事務局長）を講師にお招きし「私の障害者支援の歩み～重症心身障害児・者の支援からの学び～」と題してご講演を頂きました。

障害者プランの中に「施設から地域へ」「共生社会の構築」が掲げられた1995年、中島さんはそれまで働いていた入所施設を飛び出し、恩師のひとりである池田太郎氏の臨終の際、たまたま背広のポケットから出てきた「4つの願いのメモ（①私も働きたい②無用の存在ではなく有用の存在と思われたい③みんなと一緒に暮らしたい④楽しく生きたい）」とその著作「人間らしさを求めて」をバイブルに相談員として地域の中で活動し始めます。まだ、制度的にも貧弱で手探りの時代に「家庭訪問」と銘打ち、朝から晩まで甲賀地域の障害をお持ちの方のご自宅を、1件、1件訪ねながら「どう生きてきたか、どう生きているか、これからどう生きたいのか」を言葉として形に出来ない人の声も含めて話を聞いて回ります。そこで、障害を持つ方が抱える多くの困りごとに遭遇をします。「なぜ、義務教育なのに学校に通うことができないのか」、「なぜ、毎日お風呂に入ることができないのか」…障害があろうとなかろうと、医療的ケアがあろうとなかろうと「当たり前の暮らしを」、「普通の暮らしを」、幾重にも重なるその困難や制度の狭間で苦しむ人たちをなんとかしたいといけなく、それは中島さんの相談員としての切実な願いであり、同時にそれができない社会への「怒り」でもあったと思います。その



情熱は、時には乱暴に、時には独りよがりになりがちですが、中島さんはそれでは本当の解決はできない、個人のニーズをみんなのものにしていく、他人と手を取り合って解決をしていくこと、つまり1人の不安をひとりだけにしないために、サービス調整会議へ、自立支援協議会へ、縁創造実践センターへと姿を変えていきます。そして、そこでの取り組みが重心通園の開設、学校への看護師配置、市町の入浴事業などいくつも具現化をされてきました。

講演の最後に中島さんは「ともに遊び、ともに働き、ともに暮らす。もっと社会が混ざりあわないといけない」と言います。これからの時代は人口減少社会です。競争の時代は終わり、誰もが助け合う共生の時代へ真剣にシフトしなければいけない、中島さんの情熱がまた、語りかけてくれています。

おまけは、相談員としての心持ち、中島さんの「四ない主義」を。「①けんかをしない②抱え込まない③一人勝ちしない④押し付けない」。いつもそのことを心に刻み「感謝の実践」を目指して、これからもいち相談員として精進します。ご講演ありがとうございました。どうぞ末永く、いつまでもお元気で僕たちの相談支援の前を走り？歩き？いや、はってでも？いてください。

(相談支援の永遠の後輩 増野隼人)

記念講演の動画と講演資料については、「びわこ学園ホームページ」からご覧いただけます。



【 概 要 】

社会福祉法人びわこ学園 令和7年度事業計画

(詳細は、びわこ学園ホームページに掲載)

I. 法人事務局

<重点項目>

- ① 職員確保・定着のための方策の検討、実施。
 - ・看護基準維持対策のため、法人事務局の体制を強化し、スピーディーに効果的な確保・定着対策を実行できる体制を図る。
 - ・特定技能外国人の病棟配置増となることから、配属事業所と連携し安定した就労に向けての対応を行う。
 - ・魅力ある職場づくりに向け、多様な働き方の検討を行う。
- ② 障害者虐待防止の取り組み
 - ・「びわこ学園における障害者虐待防止に向けた心構え」について、よりその内容を深められるようスライド等を作成し、各施設・事業所で活用し、ブラッシュアップを図る。
 - ・「私たちの心構え(素案)」で検討された内容を手掛かりに、職員の(仮)倫理綱領について検討を進める。

1. 事業運営・展開

- (1) 第四期中期計画に基づく事業の実施
 - ・中長期的な視点での法人全体の①将来ビジョンの検討 ②組織のあり方 ③人材確保・育成について、将来構想委員会において検討を行う。
- (2) 地域における公益的な取り組み
 - ・重症心身障害児者・医療的ケア児等支援センター(以下、こあゆ)について、引き続きワンストップの相談体制とともに、身近な地域の中での支援体制の確立に取り組む。また、各研修や協議会等をスムーズに遂行するとともに、必要に応じて、内容や方法の再検討を行い、新たな研修やネットワークづくり、モデルケースの取り組み等を検討する。
 - ・医療的ケア児者対応事業所開設促進事業(県受託事業)については、滋賀県主導のもと、引き続き、県北部圏域の医療型短期入所の開設促進と運営サポートに協力する。
- (3) 滋賀県への要望
 - ・滋賀県と定期的に協議を行い、県内の重症児者、医療的ケア児者の支援の充実のため、必要な要望を行う。

(4) 社会への発信力の強化

- ・びわこ学園のホームページをさらに見やすく、社会に発信していくツールとして充実、活用を図る。インスタグラム等のSNSの活用についても検討し実施していく。
- ・重症児者への理解やより良い支援が一層広がることを目的に、実践研究発表会等での報告をはじめ、各施設・事業所の取り組んでいる事業の様子、そこに携わる職員の専門性や思いなどの発信を行う。
- ・昨年度に続き、障害者理解の啓発のために、びわこ学園後援会と共同しドキュメンタリー映画の上映会を開催する。

2. 組織運営・管理

(1) 職員の安定的な確保

- ・職員確保・定着を図るため、①多様な働き方、②多様な人材による職員確保、③職員の処遇の改善、④効果的なICTの活用による業務の効率化による利用者支援の向上について検討し実施に向けて取り組む。
- ・看護：新たに看護統括部長を配置し、看護師確保担当と連携しながら看護師確保、定着の強化を図る。
- ・生活支援：生活支援員の確保状況を見ながら、特定技能外国人について計画的な採用を検討する。

(2) 働きやすく魅力ある職場づくり

- ・育児・介護休業法の改正に伴い、男女とも仕事と育児・介護を両立できるように、育児期の柔軟な働き方を実現するための措置の拡充や介護離職防止のための雇用環境整備、個別周知・意向確認を行う。
- ・次世代育成及び女性活躍推進の現行動計画期間が終了するため、総括を行い、次期行動計画は、2つの行動計画を一体化し、取り組みを進める。

(3) 法人組織検討

- ・現中期計画にあげている、びわこ学園障害者支援センターの今後の事業運営にかかる組織体制等について、びわこ学園障害者支援センター内での協議された内容を将来構想等に諮り、具体

化していく。

- ・事務の効率化を図れるよう法人組織検討に着手する。また、各規程の見直しも進め、継続的に安定した法人運営が出来るよう検討を行う。

(4) 内部管理体制の強化

- ・コンプライアンスを高める取り組みを推進していく。

3. 経営・財政

(1) 財政基盤の強化

- ・法人内で月次データの共有化を図るとともに、財政状況及び予算の執行状況について、適宜、経営会議、理事会、評議員会等に報告する。また、施設建替えに向けて積立額の確保にも取り組む。

(2) 適正な計算書類の作成に向けて

- ・経理関係規則の適正な運用を図るべく内部・外部監査機能を活用した業務改善に取り組む。

II. びわこ学園医療福祉センター草津

<重点項目>

- ①「障害者施設等入院基本料7：1」基準の安定維持
数値目標：7対1基準維持のため看護師人数75名以上の確保・維持を目指します。
具体的手立て：事業安定実施のための職員確保と体制維持。施設基準の点検・定時確認をします。
- ②医療安全・虐待防止
数値目標：虐待をなくします。レベル3以上の事故を10%減少させます。
具体的手立て：令和5年度、6年度の事案の改善計画のうち、継続が特に必要な項目を選択して進めます。対策が、現場の支援に反映されているか、虐待防止委員会・医療安全管理委員会を通じて評価を実施し、対策の実施を確実なものにしていきます。
- ③働きやすい職場づくり
具体的手立て
・職場環境で、ハード面、ソフト面の改善項目を明確にして、優先順位を決めて、計画的に実施します。
・重症心身障害看護・生活支援の魅力を再確認し、その思いを提案、共有・発信することを目指します。
・個別支援プログラムや記録の効率的な実施や会議の持ち方について点検します。
・病棟内の勤務体制や働き方についてのワークライフバランスの検討を進め、職員配置や確保に反映させます。
・部門を超えた相談体制の実施を継続します。

- ・提案や意見を出しやすいコミュニケーションについて、点検、評価、改善を継続します。

1. 人権への配慮と対策の充実

- (1) 不適切な対応、虐待など人権侵害の芽の段階での早期発見と対応を行います。

2. 医療安全・事故防止対策の充実

- (1) 過去のレベル3以上の事故分析と対応について、ハード面、ソフト面で点検して、日常の安全対策にいかしていきます。

3. 入所利用者への取り組みの充実

- (1) 重度重症化への対応力を高めます
- (2) 意思決定、臨床倫理について、施設内に組織的な体制を整えて実施します。

4. 地域支援の充実

- (1) 入所機能をいかした地域支援を進めます。
- (2) 外来機能を充実させていきます（オンライン診療、外来NSTなど）。

5. 職員の定着と育成

- (1) 看護基準7対1継続のための人員確保を法人と連携してめざします。
- (2) 一人ひとりが自ら考えて根拠に基づいた実践ができるための研修と人材育成を行います。
- (3) ノーリフトケアを推進していきます。

6. 防災・防犯対策の充実

- (1) BCPをさらに実効性のあるものにしていきます。

7. その他

- (1) 糸賀、岡崎思想を学び「いのち」等への共通理解を深めます。
- (2) 医療機能としての認可病床・障害福祉サービス機能共に安定的な稼働率をめざします。

III. びわこ学園医療福祉センター野洲

<重点項目>

- ①収益強化と経費削減、業務効率化により収益の改善を図ります。
- ②『もの』の効率的活用により生産性を向上します。（勤務作成ソフト・ロボット掃除機の導入）
- ③人員体制や環境を改善・工夫し、働きやすくやりがいのある職場をつくります。

1. 人権への配慮と対策の充実

- ・野洲市企業研修等を活用し人権教育について理解を深める場をもち、人権意識の向上を図ります。
- ・事業に携わるすべての職員を対象とした障害者虐待防止研修の実施と意識の啓発に取り組み、多様なバックグラウンドや考えを持つ人材が活躍できる場を整備します。

2. 医療安全・事故防止対策の充実

- ・手順書の遵守により医療関連事故を未然に防ぎます。
- ・抱え上げない介護推進事業所として研修を重ねることで介護の質の向上をはかり、介護中の転落や転倒、骨折事故の発生を防ぎます。
- ・全病棟に設置した観察カメラを運用し、施設における事故検証と再発防止のために活用します。
- ・労働安全衛生委員会による巡視と環境改善により安心して働くことができる職場をつくりまします。

3. 入所利用者への取り組みの充実

- ・センター草津との医療部連携により、両センター機能分担と連携の整理と活用を促進します。
- ・重度重症化および高齢により出現する病状への診察と支援体制を充実させます。
- ・一人ひとりの思い・願いを支える活動や社会参加への検討を行い、個別支援計画を作成します。
- ・日本動物病院協会の協力によるドッグセラピーを催し、動物とのふれあいを通じて生理的・心理的な効果や社会性を育みます。（開催頻度：年3回）

4. 地域支援の充実

- ・短期入所における医療リスクに対応した上で、利用再開や新規契約者を受け止めます。（5ケース）
- ・野洲市湖南圏地域生活支援拠点等事業所として登録し、緊急時の受入と対応に努めます。

5. 職員の定着と育成

- ・活発な研究活動による学会・論文報告を発信し、研修への参加を推奨します。
- ・各部署の人間関係を把握し、必要な支援を行うことで離職防止を図ります。
- ・看護学生や福祉実習生を受け入れるとともに、福祉分野以外のインターンシップ学生を積極的に受け止めることで、施設の様子や魅力を伝えます。

6. 防災（防犯）対策の充実

- ・施設における地理的リスクを把握し必要な整備に取り組み、定期的な訓練を実施します。
- ・福祉施設等における防犯対策点検項目ガイドラインを参考に、物理的な環境を整え、緊急時の役割分担を明確にします。
- ・サイバーセキュリティ対策として、セキュリティ教育を定期的に開催し、パスワードの強度

と管理状況を把握し、リスク低減のための措置を取ります。

7. その他

- ・省エネ診断報告書に基づく省エネ設備導入とエネルギー使用状況の見直しを行います。（2年目）
- ・センター野洲に関わる方が楽しめるイベントを企画し開催します。（web配信あり）

IV. 知的障害児者地域生活支援センター

<重点項目>

- ①当事者・家族・地域も巻き込んだ実効性のある災害時の業務継続計画の運用を図ります。
- ②記録システムを導入することにより大津センターにおける業務の効率化を図り、働きやすい環境づくりと利用者支援への集中を図ります。
- ③利用者・家族からサービスについて聞き取りを行い、サービス向上に繋がります。

1. 事業運営・展開

(1) さくらはうす（通所課）

- ・組織体制・職員配置・業務分掌の再考と各種会議の役割の整理を行い、効率的な運営と業務負担の軽減を図ります。
- ・利用者支援や運営で検討事項ができた時は、到達目標と期限を定めたプロジェクト会議を実施して改善を図ります。
- ・新規利用者を受け止めにあたり、職員配置やグループ編成の見直しと半期での評価を実施します。
- ・重点項目②について取り組みます。

(2) ひまわりはうす（支援課）

- ・大津市の日中一時支援事業の見直しに伴い、ひまわりはうすの週末の余暇支援や平日の居場所支援の在り方に関して大津市と協議を行い、2026年度以降の事業運営の展開を決定します。
- ・重点項目②について取り組みます。

(3) 生活支援センター（相談課）

- ・滋賀県障害児（者）地域生活ネットワーク支援事業の廃止に伴い、滋賀県が2025年度から実施する障害福祉サービス事業所専門人材育成推進事業等の受託と円滑な研修を実施します。

2. 組織運営・管理

- ・人件費増加に伴う適切な予算確保に向けて大津市協議を行います。また、育児介護休暇の見直しの影響について対策を講じ、円滑な事業運営を行います。
- ・おまつりはうすの実施にあたり、運営体制の見直しと強化を図り円滑に準備を進め、利用者と

近隣住民との交流の機会の場合として実施します。

- ・「抱え上げない介護（ノーリフトケア）」の更なる取り組みを進め、家族や地域を対象にした研修を実施します。
- ・運転に対する意識を高め、安全運転教育を実施します。また、利用者の送迎における安全対策を産業医と連携して検討します。

V. びわこ学園障害者支援センター

<重点項目>

- ①障害者支援センターにおける組織改編検討プロジェクト（将来計画検討委員会）にて将来に向けたプラン立案及び短期計画項目の実施
 - ・生活介護 - GH - ヘルプの機能連関、組織統合の検討と具体的な試行を行います。また、訪問看護・ちょこらんどの事業のあり方、及び生活介護との機能連関を検討します。
- ②びわセン事業における権利擁護と日中活動の場と幅を広げる活動・安心できる住まう場の提供
 - ・「虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会」を年間計画にそって定例開催、各指針の確認と各事業所での遵守状況の点検を行います。そのことを、所内各所にて周知します。
 - ・日中活動の場ととりくみの幅を広げられるように、各事業所の日中活動を軸に行事・イベントにおいて外部との交流の機会を大切に、また利用者さん本人にとって見通しと心づもりがもてるようなプログラム・スケジュール化のなかで実施します。
- ③「やりがいを感じながら」働きやすい職場環境づくりと労働安全の向上を図る
 - ・所内に職位や所属にとらわれない複数の相談体制を整えます。また、日常的な、意図した職員間のことばがけを大切にします。あわせて、「好事例」の所内評価と広報をすることで、やりがいにつながります。
 - ・「抱え上げない介護（ノーリフトケア）」の推進と推進事業所の認定取得を増やします。
 - ・地域支援部署として、びわこ学園を「カジュアル」に広報することも目指します。積極的に地域に出向き重症心身障害がある方たちの理解を深める。また、びわこ学園の間口を広げ、求人对策の広報の具体化を図ります。

1. 事業運営・展開

- ・重い障害のある方を対象とした質の高い相談支援事業の充実と運営の安定化をめざします。
- ・安心安全の訪問看護・介護を着実に実施し、2

次相談機能を中心に医療的ケアを必要とする在宅の障害児者に対しても、多職種で連携し、乳幼児期から成人期までそれぞれのライフステージにあわせた生活をサポートします。

2. 組織運営・管理

- ・職員配置の適正化と「やりがい」を確かめながら「働きやすい職場環境づくり」を推進します。
- ・BCP（事業継続計画）をふまえた、災害・感染症想定の実施訓練を実施します。

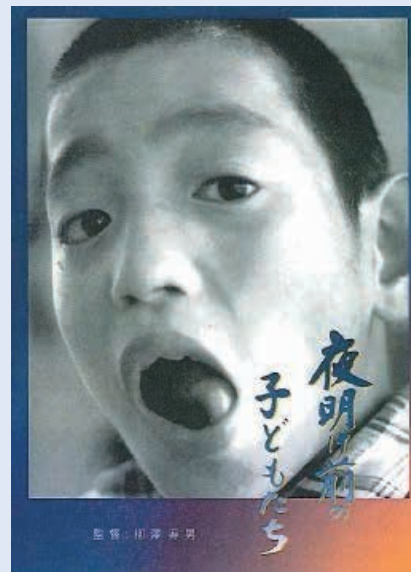
3. 経営・財政

- ・各事業所レベルにおける予算マネジメントの強化に向けた方策を検討します。
- ・事業実施にかかる状況・課題を所在地行政と継続共有し、事業が安定した経営・運営環境下となるように、利用者の利用実績だけではない体制評価をふまえた財政支援（補助）を要望します。

上映会のご案内

びわこ学園・びわこ学園後援会共同開催 「いのち」への想いをつなげる 映画上映会

- 日時 2025年9月28日（日）
13:00～15:30（12:30会場）
- 場所 さざなみタウン（長浜市高田町12-34）
- お申込み びわこ学園後援会ホームページ
もしくはお電話
- お問い合わせ びわこ学園後援会事務局
【電話】077-587-1144
（医療福祉センター野洲内）



上映会
案内ページ
はこちら

令和7年度 社会福祉法人びわこ学園資金収支予算書

拠点区分	サービス区分	拠点区分	サービス区分
法人本部	本部	障害者支援センター	特定相談支援(びわりん、てくてく) 訪問介護ステーション、 共同生活援助(ともる、えまい) 生活介護(えがお、さんさん、たいよう、かなえ、 ピアーズ)、多機能型事業所ちょこらんど
医療福祉センター草津	医療福祉センター草津 重症心身障害児者施設 医療福祉センター草津 短期入所		
医療福祉センター野洲	医療福祉センター野洲 重症心身障害児者施設 医療福祉センター野洲 短期入所	医ケア児等支援センター	重症児者医ケア児等支援センター事業
知的障害児者地域生活 支援センター	生活介護さくらはうす、多機能型ひまわりはう す、生活支援、地域生活支援	訪問看護ステーション ちょこれーと	訪問看護ステーション
		長浜診療所	長浜診療所

(単位:千円)

勘定科目	法人全体	法人本部拠点区分	草津拠点区分	医療福祉センター 野洲拠点区分	医療福祉センター 野洲拠点区分	知的障害児者地域生活 支援センター拠点区分	障害者支援センター 拠点区分	医ケア児等支援センター 拠点区分	訪問看護ステーション ちょこれーと拠点区分	長浜診療所 拠点区分
	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
事業活動による収支	収入									
	児童福祉事業収入	9,394		9,394						
	障害福祉サービス等事業収入	2,465,152	2,301	644,600	694,880	368,143	732,532	22,696		
	医療事業収入	2,710,028		1,353,170	1,273,020				70,518	13,320
	経常経費寄附金収入	1,100	100	1,000						
	受取利息配当金収入	2,055	150	800	1,100	5				
	その他の収入	25,425	1,000	14,000	9,000	860	250		50	265
	事業活動収入計(1)	5,213,154	3,551	2,022,964	1,978,000	369,008	732,782	22,696	70,568	13,585
	支出									
	人件費支出	3,678,990	89,847	1,292,600	1,340,644	325,263	540,513	18,614	57,502	14,007
事業費支出	565,438		286,915	219,520	9,042	48,278		983	700	
事務費支出	564,174	31,266	196,425	208,001	29,869	83,144	3,624	7,967	3,878	
支払利息支出	0									
その他の支出	216				216					
事業活動支出計(2)	4,808,818	121,113	1,775,940	1,768,165	364,390	671,935	22,238	66,452	18,585	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	404,336	-117,562	247,024	209,835	4,618	60,847	458	4,116	-5,000	
施設整備等による収支	収入									
	施設整備等補助金収入	0								
	施設整備等寄附金収入	0								
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出									
設備資金借入金元金償還支出	0									
固定資産取得支出	220,314	2,623	154,229	59,912	1,000	2,550				
ファイナンス・リース債務の返済支出	130		130							
施設整備等支出計(5)	220,444	2,623	154,359	59,912	1,000	2,550	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-220,444	-2,623	-154,359	-59,912	-1,000	-2,550	0	0	0	
その他の活動による収支	収入									
	拠点区分間長期借入金収入	1,100					1,100			
	拠点区分間長期貸付金回収収入	4,122	4,122							
	事業区分間繰入金収入	8,000	3,000							5,000
	拠点区分間繰入金収入	134,000	130,000		4,000					
	サービス区分間繰入金収入	47,300		25,272	4,312		17,716			
	その他の活動収入計(7)	194,522	137,122	25,272	8,312	0	18,816	0	0	5,000
	支出									
	長期貸付金支出	8,000		5,000	3,000					
	積立資産支出	88,088	867	12,300	62,450	3,618	7,395	458	1,000	
拠点区分間長期貸付金支出	1,100	1,100								
拠点区分間長期借入金返済支出	4,122					4,122				
事業区分間繰入金支出	8,000	5,000						3,000		
拠点区分間繰入金支出	134,000		64,000	60,000		10,000				
サービス区分間繰入金支出	47,300		25,272	4,312		17,716				
その他の活動支出計(8)	290,610	6,967	106,572	129,762	3,618	39,233	458	4,000	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-96,088	130,155	-81,300	-121,450	-3,618	-20,417	-458	-4,000	5,000	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	87,804	9,970	11,365	28,473	0	37,880	0	116	0	
前期末支払資金残高(11)	1,371,717	202,168	477,508	447,805	0	135,948	0	102,834	5,454	
当期末支払資金残高(10)+(11)	1,459,521	212,138	488,873	476,278	0	173,828	0	102,950	5,454	

ご協力ありがとうございます

令和6年12月～令和7年3月（敬称略）

寄付金

（寄付金についてはいただいた方の御名前または団体名のみご報告させていただきます。）

（法人）

内田克己／今宿 功／匿名

（びわこ学園医療福祉センター草津）

草津市共同募金委員会・草津市社会福祉協議会／イサム塗料株式会社滋賀工場

（びわこ学園医療福祉センター野洲）

守山野洲地区労福協／株式会社メディック／堀部牧子／優友会／武藤一美／Do Ferio
日野町民生委員児童委員障害部会一同

（知的障害児者地域生活支援センター）

大津市共同募金委員会・大津市社会福祉協議会／平野学区社会福祉協議会／優友会

（びわこ学園障害者支援センター）

大津市社会福祉協議会青山学区社会福祉協議会／草津市社会福祉協議会

物品の寄付

（びわこ学園医療福祉センター草津）

食 品・・・二宮博之／石塚義之・千恵／社会福祉法人共生シンフォニー／青木和貴
その他・・・中西善子

（びわこ学園医療福祉センター野洲）

食 品・・・二宮博之・聡子／タキイ種苗株式会社 研究農場／河村明日香
その他・・・なでしこの会 小西まゆみ／深田佳子／前田 光

（びわこ学園障害者支援センター）

食 品・・・訪問美容「島アップ」
その他・・・山田考次・谷 仁
ほか25名の皆様からお菓子や食料品などの物品寄付をいただきました。

ボランティアのみなさん

（びわこ学園医療福祉センター草津）

山科たんぽぽ／天理教江西支部／すずらん／宇野郁子／御子芝貴美子／BusuClover／みみすまバンド／
ぼけっぴーの／ことごと／ムジグル／滋賀医科大学看護学科ボランティアサークルの皆様／
おはなしサークルことり／西浦正一／坂口博昭／船木篤栄／香川典代／元井芳嗣／近松清司／三宅美恵子／
栢谷美代子／田辺久子／増野良子／向吉昌代／加藤美由紀／前田五月／西尾悦子／田中智子／西川千晴／
奥田多恵／池田はるか／伏見真奈美／吉田利菜／小谷優理子

（びわこ学園医療福祉センター野洲）

近江金田教会／K-Iクラブ／更生保護女性会／天理教婦人会／野洲音訳グループさえずり／ニレトミ会／
野洲赤十字奉仕団／大津友の会／レイカディア大学園芸科45期A.B／レイカ野洲／びわこ学院大学／
秋末文孝／秋末道子／安藤真紀／磯 春樹／上田順子／加藤常満／川端しづ子／辰市由香／左部真千恵／
東郷 勇／中富恵子／堀田千景／森 紳司／元木恭子／元木隆治／木村真由美／栢谷幸一／栢谷美代子／
水津さゆり

（びわこ学園障害者支援センター）

GINLALA／笠縫東学区更生保護女性会 卯田美千代／ニコラズ／垂髪あかり

その他の協力団体・会員

びわこ学園家族の会 ミシン購入費用
びわこ学園後援会 各施設等への事業補助・施設環境充実補助等



社会福祉法人
びわこ学園

発行責任者 理事長 〇分田 政夫
編集責任者 法人事務局 田處 浩吉
印 刷 近江印刷株式会社

法人事務局
びわこ学園医療福祉センター草津
びわこ学園医療福祉センター野洲
知的障害児者地域生活支援センター
びわこ学園障害者支援センター
びわこ学園長浜診療所

TEL 077-587-1144 〒520-2321 野洲市北桜978-2
TEL 077-566-0701 〒525-0072 草津市笠山八丁目3-113
TEL 077-587-1144 〒520-2321 野洲市北桜978-2
TEL 077-527-0494 〒520-0802 大津市馬場二丁目13-50
TEL 077-585-8040 〒524-0014 守山市石田町707
TEL 0749-53-2771 〒526-0845 長浜市小堀町122番1